



愛と復興 只見町

# 議会だより

No.161

令和2年10月30日発行  
2020 OCTOBER



明和小学5年生 稲刈り体験

P10に関連記事

分かりやすく伝える誌面に  
なっていますか？



只見町議会中継は、只見町議会  
ホームページからも視聴できます。  
←議会中継へ

<b>第2弾 新型コロナ対策特集</b> …	2
9月補正(鳥獣被害対策強化など) …	4
令和元年度決算を認定 …	6
一般質問・11名が町政を問う …	11

# 経済・感染予防対策決まる

(千円未満切り捨て)

## インフルエンザ予防接種 全町民無料

新型コロナウイルスとインフルエンザの症状が類似しており、医療体制の確保をはかり、予防接種費用の負担軽減

# 1715万



入場時に体温測定が可能に

## 公共施設空間・ 安全・安心確保

# 200万

診療所や湯ら里などにサーモグラフィーを設置し安心を確保

## 農業経営 持続化給付金

# 1800万

コロナ禍により令和2年度収入減少状況に応じ定額15万円給付  
(実施時期、税申告時期を検討)

## 新生児・ 特別定額給付金

# 250万

令和2年4月28日から令和3年3月31日新生児1人×10万円  
(町内在住等の要件在り)

## 自然首都・只見 ふるさとときずな便

町外に暮らす、家族、友人などに農産物や町内購入品の送料を支援

# 1472万



季の郷湯ら里

## 宿泊助成事業

# 1000万

町内宿泊応援5000円／泊×2000泊

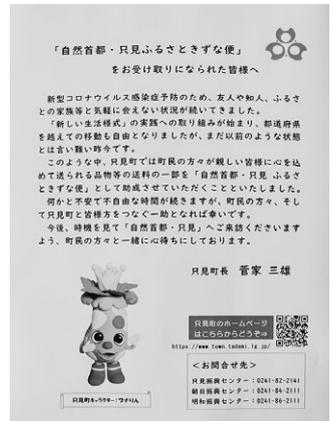
## 宿泊予約 キャンセル協力金

# 250万

町の自粛要請に応じ受入れ制限に協力された町内宿泊事業者  
キャンセル数500泊×5000円

## あらまし

9月議会は9月8日から18日まで議案審議、令和元年度決算審査を行ない、多くの補正予算・条例改正が提出されました。  
補正予算のうち新型コロナウイルス支援策については、経済支援に加え、感染予防対策を議会より提案し、町民が安心して生活できるよう決定されました。



自然首都・只見  
ふるさとときずな便パンフレット

# 新型コロナウイルス感染症

(千円未満切り捨て)



グランドゴルフを楽しむ高齢者

## 特別給付金 1億2600万円

景気低迷や収入減、外出自粛の疲弊感を軽減し、町民生活を支援  
町民1人当たり3万円×4200人

## 町内商品券発行

## 8400万円

町内消費喚起、商業活性化、町民生活支援  
町民1人当たり2万円×4200人



商品券



移動販売車イメージ

## 地域の生活支援事業

## 800万円

身近な商店が減少し、生活・食料品等の購入困難地域の買い物弱者支援のために移動販売車を購入し事業者に貸与する。

## 公立学校 情報機器整備事業

## 1556万円

GIGAスクール構想に基づき各小・中学校全生徒にタブレット端末を整備し学習効果を高める。

## 新型コロナウイルスの影響により 中止になった主な事業

- \*ライザップ健康作り事業
- \*3地区町民運動会
- \*八十里工事区間視察ツアー委託事業
- \*国道289号早期全線開通促進事業  
(フルコース自転車踏破)
- \*3地区敬老会
- \*水の郷うまいもんまつり
- \*自然首都只見・トリムウォーク&トリムラン
- \*消防団ポンプ操法大会
- \*町駅伝競走大会

### 来年は全て開催されますように!

## 交流施設整備 基本計画策定委託事業

## 1600万円

「新しい旅行スタイル」、「新しい生活様式」に対応した受け入れ態勢整備を図るため、交流促進センターの施設整備に係る基本計画を策定



# 鳥獣被害対策強化 パトロール強化期間

## 補正 予算

(千円未満切り捨て)

### 農作物鳥獣被害対策事業補助金拡充

電気柵、防護ネット、わな、檻等、  
緩衝帯整備に補助

# 900万円

(7月補正500万円、9月補正400万円)

### 8月～10月パトロール強化期間

有害狩猟鳥獣捕獲隊によるパトロール  
イノシシ、サルの追い払いと駆除

# 162万円

(8月補正)

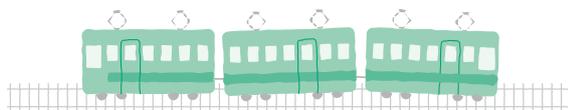


鳥獣被害対策のため設置された檻

### 誘客多角化等滞在 コンテンツ造成実証事業

# 1980万円

JR只見線の全線復旧を見据え、只見駅を旅の  
目的地とするために、産学官連携で駅周辺（三  
石神社等）の磨き込みをする。



### 保育料無料化

# 390万円

10月より満1歳以上～3歳未満の保育園児38  
名を対象（保護者負担減で町負担が390万円増）



只見保育所

### 特定空き家解体工事 (朝日・上福井地内)

# 594万円

地域環境に悪影響を及ぼしている空き家で所有者に除  
去費用等負担能力が無いと認められ只見町特定空き家等  
対策事業実施要項の条件を満たす場合、土地・建物・  
動産の寄付を町が受け建物を解体し、その跡地を有効  
活用する。



取り壊しが決まった空き家

## 県指定重要文化財 旧長谷部家(叶津番所)を町が取得

2293.93㎡ 建物・土地含む

# 5192万円

旧叶津村の名主をつとめていたこの建物は、規模の大きいうまや中門造り江戸時代後期の建築で県指定重要文化財に指定され貴重な歴史的建造物である。町は文化財を適切に保護保全し、町の宝として確実に後世に引き継ぐとともに、「国指定重要文化財・五十嵐家」を含め国道289号の全線開通を見据え教育・観光政策を作成し地域活性化に繋がる取り組みを求めた。



旧長谷部家(叶津番所)

## (株)東邦銀行の15万株取得 3450万円

(株)東邦銀行は町の指定金融機関であり、町内経済を支える重要な役割を果たしている。社会情勢の変化により金融機関の再編や統廃合等が進行している現状を踏まえ、東邦銀行との関係を強化、只見支店維持のための一助となるよう株を取得する。



町の指定金融機関の東邦銀行

## 主な条例改正

- 1) 只見町議会議員及び只見町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例  
\* 選挙用ポスター・ビラ・選挙運動用自動車などの費用について限度額や基準はあるが、おおむね公費負担となる。
- 2) 只見町保健師・助産婦及び看護師養成奨学資金貸与条例の一部を改正
- 3) 只見町医療施設等技術者養成奨学資金貸与条例の一部を改正  
\* それぞれの奨学資金の返還猶予、返還免除、免除該当期間の変更をする事により医療資格職の確保に効果を見いだしたい。

## 意見書採択

9月会議で国への意見書が提案され、全会一致で採択された。  
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

## 新教育委員に矢沢氏、固定資産評価審査委員に渡部氏

教育委員会委員と固定資産評価審査委員会委員の人事案件が提案され、両議案とも満場一致で同意した。

■教育委員会委員

矢沢 悟 氏 (塩沢)

■固定資産評価審査委員会委員

渡部 茂 氏 (只見)

# 職員の人材確保と倫理観の強化を!

## あらまし

## 令和元年度決算を認定!

### 特 徴

(千円以下切り捨て)

令和元年度の一般会計、特別会計を含めた総額は、歳入で87億9708万円、歳出が86億3197万円で、歳入歳出差引額は1億6511万円となっている。このうち一般会計の歳入歳出決算額は、歳入で61億7706万円、歳出で60億3444万円、歳入歳出差引額は1億4262万円となっている。財政の健全化を示す経常収支比率や、実質公債費比率、公債費負担比率等の数値は、健全と判断された。主な事業としては、小・中学校の空調整備事業、民具展示収蔵庫整備事業、公営住宅長寿命化整備事業、庁舎暫定移転事業、防災無線デジタル化更新事業、町政施行60周年における各種事業等が挙げられる。町の監査委員、並びに決算特別委員会からは、職員の不祥事や中途退職、更には診療所、及び介護施設等の人材不足を問題とし、意見が出された。

9月15日より3日間、令和元年度決算特別委員会を設置し、事業の効果や今後の改善点について、熱心に質疑を交わしました。新型コロナウイルス対策のため、会議の説明員はモニターで傍聴しながら、必要に応じ出席するという形式で行ないました。監査委員による決算審査や決算特別委員会で職員の不祥事や中途退職を問題視し、意見が出されました。更に、医療機関の人材確保も急ぐべき課題としています。



# 令和元年度決算質疑

正しく予算は使われたか。  
どのような成果があったか。



ブナりん

## 歳入

### 固定資産税

**Q** 不納欠損となつて  
いるが、滞納者の  
町外在住者の割合は。又、  
荒廃地や空き家も増加し  
ている。取り組みは。

**A** 滞納者が町外在住  
で、空き家となつ  
ている比率は高い。納税  
に繋がりたいが苦慮してい  
る。空き家対策も納税通  
知書にパンフレットを同  
封し、お願いしている。

### 電源立地対策交付金

**Q** いつまで交付は続  
くのか、今後の使  
途は。

**A** 今後も延長の見込  
みだ。維持補修事  
業等にも利用し、有効に  
使いたい。

## 歳出

### ユネスコエコパーク 推進費

**Q** ユネスコエコパー  
ク関連事業におい  
て、町民との関わりや、  
分かり易い事業の在り方  
を検討しては。

**A** こども芸術計画、  
伝承産品ブランド  
化事業、保全事業等を実  
施している。今後、観察  
会等も拡大し、努力した  
い。

### ブナセンター費

**Q** ブナセンターを利  
用した経済活動は  
今後どのように進めるか。

**A** 自然素材を利用し  
た産物の開発など  
を進めていきたい。

### 保育所費

**Q** 無料化に向けて、  
職員数、未満児の  
調整はどうするのか。出  
生児の数に応じて、将来

無料化に向けて、  
職員数、未満児の  
調整はどうするのか。出  
生児の数に応じて、将来

を予想し、体制の充実を  
図ってほしい。

**A** 現在は年度当初に  
希望を取り、状況  
に応じ、職員を配置して  
いる。年度中途での申し  
込みに調整もあり得る  
が、今後は出生児の数も  
調査し、対応したい。

### 観光費

**Q** 今後の駅前広場の  
整備、コロナ収束  
後の誘客、誘導、PRを  
どうするのか。

**A** 現在は来訪者に  
「まちあるきマップ」  
やパンフレットで案内し  
ている。今後もできるこ  
ろから改善していく。

### 指定管理料

**Q** 指定管理施設が赤  
字だった時の協議  
はどうしているか。

**A** 営業部分と公益部  
分に立て分けて、  
管理料を決定している。  
基本的に赤字補填はして

いないが、災害やコロナ  
等、状況によっては補助  
している。

### 防災行政無線

**Q** 夏休みのラジオ体  
操の音楽放送や、  
放送を2度繰り返ししてほ  
しい、との声がある。検  
討は。

**A** 災害時の放送は2  
回繰り返ししている  
が、町民のライフスタイ  
ルの変化により、苦情が  
あるため、時間を定めて  
放送している。



防災行政無線 戸別受信機

### 総務管理費

**Q** ストレスチェック  
等委託しているが、  
不祥事や中途退職が見受  
けられる。又、正職員が  
減って、臨時職員が増加  
している。職員定数をど  
う捉えているか。労務の  
過重負担はないか。

**A** 政策的に職員を減  
らしているわけで  
はない。今後も業務の精  
選を行ない、労務の軽減  
を図っていく。

### 国民健康保険施設 特別会計

**Q** 医師、看護師確保  
の対応、更には診  
療所基本計画を早急に行  
なうべき。

**A** 県にもお願いして  
いるが、現状は厳  
しい状態だ。基本構想を  
見直しながら、収支計画  
を立てて、進めていき  
たい。

# 令和元年度各会計決算の議決状況(結果は全て原案認定)

(千円以下切り捨て)

会計名	歳入	歳出	賛否		
			認定	不認定	
一般会計	61億7706万円	60億3444万円	11	0	
特別会計	国民健康保険事業	5億98万円	4億9979万円	9	2(山岸、三瓶)
	国民健康保険施設	3億7083万円	3億6852万円	9	2(山岸、三瓶)
	後期高齢者医療	1億5067万円	1億5062万円	10	1(山岸)
	介護保険事業	7億4602万円	7億4153万円	10	1(山岸)
	介護老人保健施設	3億3407万円	3億3385万円	11	0
	地域包括支援センター	1255万円	1255万円	11	0
	簡易水道	2億4515万円	2億4463万円	11	0
	集落排水事業	2億4603万円	2億4558万円	11	0
	朝日財産区	1368万円	40万円	11	0

討論(討論者)	会計名	反対理由
反対討論(山岸議員)	国保事業特会	基金を活用し、個人負担を軽減すべき
反対討論(山岸議員)	国保施設特会	臨時職員と正職員の給与格差があり、反対
反対討論(山岸議員)	後期高齢者医療特会	75歳で区切る国の制度自体に反対
反対討論(山岸議員)	介護保険事業特会	年々増加する介護保険料に反対

## 決算特別委員会審査要約

- 審査実施期間  
令和2年9月15日、16日、17日(3日間)
- 委員長 鈴木 好行
- 副委員長 小沼 信孝

### 意見

- ① 職員の中途退職と不祥事が絶えないが、原因の究明を急ぐとともに人材・人員の確保に努め、職場環境の見直しを図ること。
- ② 指定管理事業者に対する指定管理料増加がみられる。適正な算出基準に基づき赤字補填などと誤解を招くようなことなく、至当に行なうよう努めること。
- ③ 診療収入のうち、特に入院収入の減収が見られた。看護師不足が原因と考えられ、結果して、医療サービス低下に繋がっている。  
以上のことを踏まえ、人員確保に早急に対処し、「朝日診療所基本計画」の早期作成に努めること。



## 決算審査結果要約

- 審査実施期間  
令和2年8月4日、6日、7日、17日、25日  
(5日間)
- 代表監査委員 栗木 豊
- 議会選出監査委員 酒井 右一

### 意見

- ① 職員の資質向上と倫理観の強化について  
毎年度、監査の度に注意喚起しているが、令和2年度当初にまた、不祥事が発覚した。町長は事の重大性を真摯に受け、早急にかかる事態を改善し、信頼回復に努めることを、切に要請する。
- ② 職員定数の管理と優秀な人材確保について  
職員の定数管理と資質向上は重大な課題である。速やかな退職職員の補充と定数管理計画の早期達成を求める。  
医療福祉の現場においても、地域の将来を見通した職員確保の仕組みを作り、医療救急体制の整備を要請する。
- ③ 基金の有効利用について  
令和元年度末の「財政調整基金」の積立額が10億3651万円となっている。基金を有効に活用し、町の振興対策事業に取り組むことを強く要望する。

# 委員会活動

## 総務厚生常任委員会

### ●朝日診療所基本計画の策定を求める

朝日診療所の基本計画策定に向けた計画案の提示を受け、その内容について調査した。

基本計画案は、まだ相的部分について委員会調査の必要があり、今後、さらに十分な調査

が必要である。また、過疎・辺り地域の有床診療所として、さらにはあさひヶ丘における医療福祉の重要な拠点として、朝日診療所を維持存続させていくという認識の下、今後とも基本計画の立案を注視し実現可能な計画を求めていく。



朝日診療所での事務長による感染防止対策の説明

## 経済文教常任委員会

### ●旧長谷部家(叶津番所)町が取得

現長谷部家所有者より、今後の管理が困難である、との理由から町への売却希望があり、町では県重要文化財でもある歴史的建造物の保護・活用の面から取得を決意した。

委員会では、取得することに異議はないが、取得金額が高額であること、今後の維持管理にも費用がかかること、取得後の活用方針が曖昧であること、などの理由から慎重に調査を

進めてきた。全員協議会でも審議を行ない、結果として文化財保護の観点から、町所有とすることに決した。

今後は観光客増加に繋がるよう、旧五十嵐家や河井記念館等と連携した活用計画の作成を求め、引き続き調査を継続することとした。



叶津番所での現地調査

## 議会運営委員会

6月会議以降9月会議までの間、議会運営委員会では下記の件が審議された。(抜粋)

各月会議・全員協議会の開催、請願・陳情付託、委員会所管事務調査報告、一部事務組合議会報告、一般質問の通告内容、決算特別委員会の審査、議員提出議案、議会の運営に関する基準 申し合せ・先例集に係る改正案、各常任委員会の課題等、所管事務調査事項について協議

## 南会津地方 環境衛生組合議会

令和2年8月21日の定例会において

①令和元年度一般会計歳入歳出決算は、全員一致で可決。

②令和2年度一般会計補正予算は、原案通り可決。

令和2年8月20日付けで、当組合に対し要望書が提出された。

**要望者：**南会津環境整備事業組合

**要望内容：**東部衛生センターの処理能力を1日40キロリットルに、予備貯留槽を700キロリットルに改善要望

## 南会津地方広域 市町村圏組合議会

6月22日会議において議決

①資機材運搬車配備 **1672万円**

災害時の資材、食材運搬を目的とし、災害時応援等にも活用する。

緊急車両パワーゲート付き幌トラックを配備

②南会津地方広域行政センター解体工事 **6776万円**

新消防庁舎建設に伴い旧施設の取り壊し

## 広報広聴常任委員会

①議会だよりNo.161号編集発行作業（10月30日発行）

②議会広報を通じて町民により分かりやすい行政内容、読んでみたくなるような広報誌の発行に努め取り組んでいく。

③町民の声を町政に反映させるための広聴活動にも力を入れ取り組んでいきたい。

## 一般会議募集のお知らせ

広報広聴常任委員会では町民の皆様からの様々な意見を聴き議会活動、町政に反映し、より良いまちづくりを考える場として一般会議開催の募集をしております。

**テーマ** テーマはまちづくりについてどのような事でも構いません、申し込みの際にお知らせください。

**開催方法** 日時・場所については皆さんの都合に合わせてご相談させていただきます。

**申し込み方法** 議会事務局へご連絡ください。（TEL 82-5300）

町民の皆さんと議会が一緒になりまちづくりについて話し合ってみませんか！

明和小5年生は梁取地区の田んぼで稲刈り体験をしました。今年5月には同じ田んぼで手植えによる田植え体験を行っており、今回は手刈りやコンバインでの稲刈りも体験し、昔と今の米作りの違いを学びました。児童たちは、秋空のもので慣れない鎌を使った作業に一生懸命取り組んでいました。

明和小学校5年生  
稲刈り体験



表紙の説明



各議員のところにQRコードを付けてみました。一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！

\*注 今回は2名又は3名が一緒に録画動画になっています。

プナりん

## 一般質問

- **酒井正吉郎** .....12  
山林資源の活用で地域活性化を
- **小沼 信孝** .....13  
只見線再開と八十里越開通への考えは
- **矢沢 明伸** .....14  
UIターンの具体的対策は
- **菅家 忠** .....15  
町内3小学校の統合基準は
- **酒井 右一** .....16  
役場臨時職員の採用について
- **佐藤 孝義** .....17  
2期目を目指す町長の最重要政策は
- **鈴木 好行** .....18  
業務のデジタル化への取組は
- **三瓶 良一** .....19  
八十里開通時を庁舎建設の目途に
- **山岸 国夫** .....20  
難聴者への補聴器購入補助を
- **中野 大徳** .....21  
只見川流域の洪水対策を
- **齋藤 邦夫** .....22  
菅家町政の対話型まちづくりは

# 町政を問う

町を想い11名が

### 一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針をただしたり政策の提言などを行うことです。

# 山林資源の活用で 地域活性化を

**答** 貴重な森林資源の活用を推進したい



さか い しょうきち ろう  
**酒井正吉郎** 議員

**問** 国では、昨年4月に森林経営管理法が施行された。町が仲介役となり、森林所有者と林業経営者をつなぎ、山を活かすのが目的である。所有者は山林が利用されることによって利益が生まれ、事業者には伐採や植林で雇用が生まれ、住民側は山道が整備され、快適に山に入ることができ、鳥獣被害対策にもなる。先人からの贈り物である山林を、もう一度見直し、町は是非ともこの制度に取

組み、地域活性化になくべきと考えるが。

**答** 高齢化と人口減少の進む中、森林を健全な状態で維持管理しながら、林業の活性化を図っていくためにも、森林事業者等と協議しながら取組みを検討していきたい。

**問** 公共建築物に、地元産木材の活用が見直されているが、今後も推進されるのか。

**答** 只見町公共建築物における木材利用推進に関する基本方針に基づき、今後もこれまでの使用実績を踏まえて活用を検討していきたい。

**問** 一般建築物に、地元産材の活用支援事業が実施されているが、補助拡大の考えはあるのか。

**答** 本事業はこれまでも必要な制度改正を行いながら実施しているが、さらに効果のある事業とすべく検討していく。

**問** 再生可能エネルギーである木質バイオマス事業については、過去実施に至らなかった経過があるが、再挑戦する考えはあるか。

**答** 現段階では、町で大規模な木質バイオマス事業を実施する予定はない。

**問** ユネスコエコパークでは森林保護・保全とともに、木材の持続可能な利用による産業振興がうたわれているが、かつて利用されていた「町の木・ブナ」等の広葉樹の経済的利用は考えているか。

**答** 知見を持った専門家とのアドバイスを受けつつ、従来からの自然素材を活用した新商品の企画に加え、新たな視点で町内住民と連携して推進していきたい。



活用が見直されている地元産木材

# 只見線再開と八十里越 開通への考えは

## 道の駅整備で観光商工振興を展開

**問** 只見線を観光路線と考えるならば、具体的にどのような取り組みをするのか。

**答** 地方創生路線として何度も乗りたい、訪れたい路線と定義し、只見駅周辺の魅力向上が活用につながるかと考え、道の駅、縁結び三石神社を中心

とした整備事業を進める。

**問** 撮り鉄と言われる方のために、写真撮影ポイントの整備をしないと路上駐車が多く非常に交通の妨げになる。ぜひとも整備をしてほしい。

県が塩沢地内に駐車場の整備を検討しており、町も田子倉地内に整備を考えている。

**問** 振興センター前のSLを駅前に移動してはどうか。

**答** 駅前に移すのは昔から考えられているが、駅前はJRRの土地が有り、払い下げを協議している。そういうところをクリア出来れば移動もありだと考える。

**問** 再開後、毎年維持費が掛かってくると思うが財源は。今後10年間の負担相当額となる2億円はJRR只見線ゆめ基金に積み立てている。今後維持負担軽減策について国、県に要望している。

**答** 国道289号八十里峠開通をどのように観光商工に繋げていくのか。

**問** 地域資源を生かした観光交流と地場産品を活かした地域振興拠点として、駅前庁舎周辺に道の駅整備を進め地域活力の向上を図る。また、奥会津ただみの森キャンプ場をアウトドア拠点として自然体験観光を推進したい。

**答** 何度か「また訪れたい」といった言葉が出てきた。町内に提案したい。町内に集落名を表記した看板を設置してはどうか。訪れた人が只見に行ってきたと言うより、看板に「河井継之助終焉の地・塩沢」と有れば、

**問** 塩沢を覚えてもらうことになり、只見町により親しみやすくなるのではないかと考える。

**答** 来訪者に対して只見町をアピール出来るよう検討していきたい。

塩沢を覚えてもらうことになり、只見町により親しみやすくなるのではないかと考える。



お ぬま のぶ たか  
**小沼 信孝 議員**



第8只見川橋りょう工事現場の説明を受ける

# Uターン者の 具体的対策は



あきの ざわの び  
**矢沢 明 伸** 議員

**答** 若い世代への様々な支援を進める

**問**

人口ビジョンで2030年までに移動均衡（社会増減±0）、合計特殊出生率2・3を目標としているが、高い目標でないか。それを達成するための具体的な施策は。

**答**

高い目標だが、20代から40代の若年層の男女の転入を図り、様々な事業を展開することによって目標を達成するため、総合戦略で設定している。

**問**

Uターンの最新動向、状況把握はしているか。何がきっかけ、何が必要なのか、中味を掘り下げていただきたい。

**答**

移住された方々への聞き取りや、何がきっかけであったか、何が不足しているかをとらえ、施策を展開していきたい。

**問**

Uターンを図るため成人者等へ直接意見や考え等聞くことが、Uターン施策に重要でないか。

**答**

成人者に対し町内企業等の案内やアンケートなどを取り、帰ってきた際の就業へと結びつくよう情報提供を行なっている。

**問**

移住された方々との懇談や意見等を聞くなどの考えは。

**答**

直接移住者との懇談や、その他の支援制度や新たな起業支援等いろいろな形を想定しながら工夫していきたい。意見提案や情報等がありましたら、それらを参考に組み込んでいきたい。

**問**

Uターンされる方々、住むところが一番重要でないか。只見地区に定住促進住宅があるが、朝日、明和地区など全町的な配置の考えは。

**答**

昨年明和地区に寄付をいただいた土地に賃貸住宅等を検討している。各地区に環境を整えたい。また就農希望者については中古住宅等新たな制度を検討し、総合的に対応していく。

**問**

定住希望者、地域が受け皿となる。担当窓口だけでなく、他の部署、地域との連携が必要では。

**答**

新規就農者等については必要ない。住宅環境、町内の就農の状況含め町担当、関係機関等と常に横の連携を取り対応しており、今後も継続していきたい。



Uターンを図るために整備された定住促進住宅

# 町内3小学校の統合基準は

**答** 地域の実情を踏まえ柔軟に判断

## 問

地域で子どもたちを見守り育てていくためには、各地区に小学校があるのが望ましいと考える。町内の小中学校は、ユネスコスクールとして海洋教育の視点を付加したESD（持続可能な開発のための教育）に取り組んでいるが、多様性の尊重を育むには難しい面もある。子育て

## 答

若い世代の移住定住のきっかけとなるような教育環境の充実が重要施策の一つである。少人数教育のメリットを生かし、課題克服のために他校との連携による授業の工夫をしている。

## 問

児童数や人口など、明確な数字をもとにした統合の基準を設けて置くことについての考えは。

## 答

平成28、29年度の学校のあり方検討会での最終報告では、「三地区にある小学校は、地域の中で重要な役割を担っており、未来ある児童にとって本当に必要な教育環境は何かの議論を継続していく必要がある。」とまとめられている。令和2、3年度も検討会を開催すべく準備を進めており、統合の基準については、文科省が示している数値に捕らわれることなく地域の実情を踏まえ柔軟に判断したい。

## 問

学校のあり方を決定する際には、児童や親など当事者の要望を優先するのが望ましい。子育て世代の移住を推進するためにも、只見町に今住んでいる子育て世代の理解や協力が必要不可欠だと考える。多様性の尊重が重要と考えるのは、皆が皆、町を担っていくような人材に育つことは現実的ではないと思うからである。高校卒業後、例えば東京などで傷つくことがあっても帰ってこられるのが、ふるさとの良いところだ。そういった寛容な町、多様性を認められる町を目指すという教育が望ましいと考えるがどうか。

## 答

そのように思う。



ただし  
議員  
忠  
家  
菅



児童たちにとって必要な教育環境とはなにか

# 役場臨時職員の採用について



さか い ゆう いち  
**酒井右一** 議員

**答** 資格保持者はフル、それ以外はパート

**問** 改正された地方公務員法の臨時職員にはフルタイムとパートタイムがあり、両者には給与・身分や待遇まで大きな格差がある。今年4月、改正法に基づいて、臨時職員の採用試験があったが、応募者に不利益な試験ではなかったか。（フルタイム117時間45分/1日、パートタイム117時間30分/1日）

**答** 医療や保育など資格保持者の応募者はフルとし、それ以外はパートとした。

**問** 町長はこれまで正職員と同じ勤務時間、同じ事務を行っていたフルタイムの一般事務補助職員をパートタイムとした。今回の職員募集に際し、最初からフルタイムの職として募集要項に枠を設けなかった。これにより、正職員と同一労働であった一般事務補助職員が、フルタイムの職員として応募できない仕組みを作り試験を行なった。応募者はフルタイムとして応募の機会を失ったことになる。明らかに従来の一般事務補助職員に不利益ではないか。町は定数条例で正職員の定数を115名程度としている。これに対し、パートタイムの事務補

助職員が88名いる。正職員が足りないから、パートタイムの職員に正規職員の仕事に肩代わりさせているのではないか。

**答** 正職員が足りなく募集してもままならない状況だ。パートの事務補助職員によつては、業務の内容が正職員と類似している職員もいる。

**問** 総務省自治行政局（国）の通知では、「財政的な理由でフルタイムの職員の採用を抑制する事は法の趣旨に沿わない。そのような事例があるならば正指導する。」としている。また、隣の町村は法改正の趣旨通りに事務補助職員を採用した。職員の生活が懸かっている。只見町は是正する必要があるが、どうか。

**答** 今はこれでパート職員と雇用契約している。年度途中で変更したくないので業務を精査し年度の節目に考えたい。

ポイントは  
ここです

**役場臨時職員とは**  
地方公務員法に規定され、業務と期間を決めて臨時に地方公務員となる人を言います。  
労働関係法に「同一労働、同一賃金」の原則があることから、今年4月から地方公務員法などが改正され、これまでの臨時職員は「会計年度」に限る職員となります。これを会計年度任用職員と言います。この質問は会計年度任用職員の採用についてただしたものです。

# 2期目を目指す町長の 最重要政策は

**答** 第一はコロナ対策と地域経済対策

**問** 3月一般質問に  
対し、町長は「政  
策は継続性があって初  
めて取り組むことによ  
り成功するものと理解  
している」と言われた  
が、具体的にどのよう  
な政策を継続するのか。  
2期目はどのような最  
重要施策を公約に掲げ  
るのか。

**答** 第一は新型コロナ  
ナ感染症対策と  
地域経済対策。次に朝  
日診療所の医師・看護  
師確保対策。継続事業  
の民具収蔵庫整備事業、  
道の駅整備事業、交流  
促進センター整備事業、  
国道289号八十里越  
全線開通及び只見線全  
線再開通に向けた取り

組み、県営ほ場整備事  
業。



さ とう たか よし  
**佐藤孝義** 議員

## 中心市街地の 活性化策は

**答** 道の駅検討、  
地元との議論を深めたい

**問**

現在計画中の道  
の駅と役場庁舎  
建設の絡みを確認した  
い。1期目の所信表明  
で「経過等を十分精査

し、只見町の身の丈に  
合った庁舎で雪対策を  
考慮した施設を検討す  
る」と述べている。駅  
前広場と解体後の旧役  
場跡地の土地利用計画  
は。

**答** 道の駅基本計画  
においては、設  
置位置は現在の駅前庁  
舎周辺とし、検討委員  
会で議論を進め当該地  
の土地利用を検討して  
いく。

**問** 只見駅から只見  
駐在所までは、  
県の国道改良が進めら  
れている。工事完了後  
の活性化策は。また無  
電柱化による街並み整  
備は。

**答** 道の駅基本計画  
の検討に併せて、  
地元商店や商工会と議  
論を深めたい。無電柱  
化は、国の次期無電柱  
化推進計画の動向や先  
進地事例を参考に研究  
する。

**問**

第7次振興計画  
にある国道28  
9号仮称只見トンネル  
のルートと只見地区ほ  
場整備事業の事業間の  
影響、さらに道の駅を  
整備されるのであれば、  
事業間の調整が必須条  
件と思う。

**答**

ほ場整備事業は  
令和3年度計画  
策定、令和5年度着工  
年度で、仮称只見トン  
ネルは、ほ場整備事業  
の当初計画に影響のな  
いように調整する。道

**問**

町長は総合的に  
視野に入れたビジョ  
ンを持っているの  
か。

**答**

総合的なビジョ  
ンを描く上では、  
まずはそれぞれの整備  
の時間軸をしっかりと持  
って整理して考えなけ  
ればならない。



中心市街地の活性化が求められる

# 業務のデジタル化への取組は

**答** 必要性は認識している



すずき よしゆき  
**鈴木好行** 議員

**問** 高齢者の安否確認や見守りシステムをデジタル化する考えは。

**答** 高年齢者の安否確認や見守りシステムをデジタル化する考えは、組織や人材、機械的環境でスタートラインに立つことが先決だ。

**問** 業務のICT化とデジタル変革※については、取組む考えはあるか。

**答** 本年10月から、無料化を実施したい。

**問** 子育てしやすい町づくりとして、保育料の完全無料化について年度内も可能であれば検討するとしているが、いつから実施するのか。

**答** 子育てしやすい町づくりとして、保育料の完全無料化について年度内も可能であれば検討するとしているが、いつから実施するのか。

## 保育料完全無料化はいつから

**答** 本年10月から実施予定

**答** 現在、電話回線を使用したサービスを導入しているが、ICT化によって更に進歩したサービスが出来るようになる。今後検討したい。

**問** GIGAスクールで学んだ小学生が、将来只見に帰ってこれる環境づくりが必要だ。

**答** 将来に向け、町内のデジタル環境を整えたい。

**問** 生活保障がなければUターン政策は実現しない。本町の一人当たりの平均所得は全国平均・県平均と比べていくらか。

**答** 朝日、明和保育所は増設等も含めて考えていきたい。

**問** 無料化にあたり、保育士や保育室を今後充実する考えはあるか。

**答** 全国平均は321.7万円、県平均は300.5万円、町平均は243.6万円だ。平均所得は人口構成が大きく影響するので、生産年齢人口を増やしたい。

**答** ほとんどの事業は、町民福祉向上のため、直接的、間接的に所得向上につながると思われる。ほ場整備事業、プレミアム商品券発行事業、道の駅整備事業、道路改良事業などは取り組みの一つだ。



保育料が完全無料化に

※デジタル変革（DX：デジタルトランスフォーメーション）とは、住民サービスの向上を主な目的として、デジタルを用いて新しい価値を生み出したり、仕組みを変えること。すでに磐梯町が取り入れている。

# 八十里開通時を 庁舎建設の目途に

**答** 町全体事業の中で庁舎も検討する

**問** 役場の位置は法令で『只見町大字只見字雨堤1039番地』に置くこと定められている。間違いないか。

**答** 条例でそのように定められている。

**問** 昭和28年に合併促進法が公布され、只見、朝日、明和の3村による合併協議会が設置された。朝日村は住民の反対で離脱し、昭和30年只見村と明和村による飛び地合併となったが、いかがか。

**答** 朝日村は離脱と認識している。

**問** 昭和33年朝日村は合併住民投票を行ない、結果合併が確定した。翌年、只見村が朝日村を吸収する吸収合併となったが、いかがか。

**答** 町史では、吸収合併を主張する県と対等合併を主張する朝日村の違いは記載されているが、具体的な記述はない。

**問** 昭和35年『只見町建設基本計画』が策定され、新しい町がスタートした。夢と希望に満ちた時代の始まりであり、これが只見町の原点だと思いが、いかがか。

**答** 現状はあくまで暫定であり、組織の効率化、職員間の横の連絡、人材育成にベストではない。現在3ヶ所に分散している庁舎機能を一つにすべく検討する。

**問** 役場庁舎は3村合併の象徴と考えており、庁舎建設の基本方針を明確にするべきだ。

**答** 只見町の原点は『只見町建設基本計画』にあったと考える。

**問** この約10年間の只見町の時間とお金の浪費は大変なものだ。財源の問題はどうなっているか。

**答** 財源については、5億円は元の庁舎建設基金に繰り入れた。

**問** 八十里開通時にされるのが一番良いと思うが、どのように考えるか。

**答** 八十里開通を前に湯里や道の駅など、早急に取り組まなければならぬ事案が多い。庁舎は元の位置で検討したい。町全体の事業の中で、庁舎も考えていきたい。道の駅等事業計画の中で全体像を明確に出したい。できるだけ早く進められるよう理解を得ながら対応したい。



いちべりょうさん 議員 三瓶良一



旧役場庁舎跡地

# 難聴者への 補聴器購入補助を



やま ぎし くに お  
**山 岸 国 夫 議員**

## 答 補助の在り方を検討

### 問

昨年3月会議において、難聴者への補聴器購入補助を提案した。難聴者の補聴器購入補助については「実態調査等踏まえて検討していきたい」との答弁であったが、実態調査の結果と今後の町の対応は。

### 答

介護保険の認定調査を行う際の調査項目データでは、約半数程度の方が聞こえにくい状況にあると判断している。補聴器の購入補助については、難聴の程度を判断する

上で軽度難聴・中度難聴など医師の診断の数値的な基準も必要と考  
えており、なお検討し  
ていく。

### 問

町の高齢者福祉計画では、高齢者施策について「身体的な機能の低下防止と同様に、もしくはそれ以上に認知症予防、心の健康増進、社会への関心や参加意欲の向上が極めて重要」と述べられている。補聴器についてふれていないが方向性は一致している。高齢者がいきいきと暮らせる状況をつくること  
が大事で、全国20自治体に補助制度あり、多いところで4万円の補助金を出している。町の予算措置が必要だが、どのように検討するか。

### 答

現場で補聴器の有効性や医師の判断の数値化、補助の

在り方など課題について検討している。現場での結果を待ち判断していきたい。

### 問

難聴者が身体障がい者手帳を取  
り得ることの町民への周知徹底はどのよう  
に行われて来たか。

### 答

地域包括支援センターや在宅介護支援センターの職員や保健師による訪問活動の際に、聞こえにくい方がいる場合には、障がい福祉担当と連携し、受診を勧奨している。

### 問

身体障がい者手帳を持っている方の補聴器購入補助制度の活用状況はどのようになっているのか。

### 答

聴覚障がいを持つている方の内半数の方が補助制度を利用している。



補聴器購入補助を早く

# 只見川流域の洪水対策を

**答** 県の事業進捗を確認し要望する

**問**

只見川は平成23年の福島・新潟豪雨において、只見川流域市町村に甚大な被害をもたらした。当時50年に一度と言われた豪雨は、気候変動が予想以上に進行していると考えられる。本年を見れば、九州球磨川の氾濫、その後の山形県最上川の氾濫、線状降水帯が日本列島のどこに停滞

するかにより伊南川や只見川がいつ氾濫するの予想し難い状況にある。現在、只見川においては河川改修工事が進められている。八木沢地区には新たな堤防が設置され、また河川の拡幅工事や川の流れを良くするための工事が行なわれている。更に只見地区常盤橋から叶津川の合流地点ま

での居住地域に堤防等を早急に整備するよう関係機関に要望すべきと思うが、町長の考えは。

**答**

常盤橋から叶津川合流地点までの堤防整備については、新町、只見工区として、県において堤防計画の織細設計が進められている。設計が完了次第に年内を目標に地元説明会を実施しながら事業を進める。事業進捗を確認しながら要望していく。

**問**

叶津地区の中ノ平橋付近については、叶津川が氾濫する際、最初に越水する場所である。地形上その越水した水は叶津の居住地に流れ込む。数年後に控えた八十里越国道289号全線開通に向けて早急な改良運動をすべきと考える。

**答**

叶津川に架かる、国道289号中ノ平橋付近は叶津川の増水により越水し、通行止めや農地等への浸水が発生している箇所であり、国道289号八十里越道路の全線開通にも影響があるものと認識している。叶津集落からも入叶津道路計画に関連して河川砂防事業について要望があり、県事業において叶津川及び支流の砂防事業を計画中である。



なかのたかのり  
**中野大徳** 議員



改良が進む只見川（新町付近）

# 菅家町政の 対話型まちづくりは

**答** 災害対策とコロナで十分できなかった



さいとうくに お 齋藤邦夫 議員

## 問

菅家町政の対話型まちづくりを

期待したが、町民との対話の実績と自己評価を頂きたい。また集落課題の認識は。

## 答

平成29〜令和元年度には町政報告会を1回、座談会を各地区1回、令和元年度には希望集落で座談会を5回実施したが、災害対策やコロナの影響より十分でなく残念である。集落の課題は担い手不足による集落機能の低下など。

## 問

人口減少対策は、全国的に住宅対策や助成金制度が多く、同じでは決め手に欠ける。永住の地を選ぶとき地域的な魅力が大切。

例えば、子育て世代であれば、子育てと教育環境・ユネスコエコパークの町、高齢地域を逆手にとって医療と福祉の町など、誇りを発信できる町づくりを進めるべき。

## 答

同感であり努力してきたが厳しい。若者に自由な働き場と遊び場がないこと、やはり一番は克雪化で、冬を楽しく過ごせる町づくりができればと考える。住む人が安心して生活できるんだよと情報発信できる町づくりと認識している。

## 問

国道289号開通後の受け入れ環境整備が進まない要因は何か。道の駅整備計画と交流施設整備の進捗状況を示せ。

## 答

奥会津ただみの森キャンプ場をリニューアル、河井記念館駐車場整備など、着実に進めている。道の駅は、検討委員会の意見を頂き施設規模や運営収支計画など基本計画を取りまとめている。交流施設は、経営安定化を見据えた施設整備の基本計画を策定中。新型コロナで旅行形態の変化など検討したい。

## 問

仮称・只見トンネルは、将来の只見町を構想し、ビジョン持って取り組まないとトンネル化も魅力ある町づくりにも繋がらない。

## 答

まず、国道289号の開通であり開通後の受け入れ態勢を整えることが最優先で見通しの立つ段階で只見トンネルの要望をしていきたい。



議会で毎年実施している議会報告会



ブナりん

# 教えて! 議会のこと

Vol.25



アカシヨウちゃん

## 『議会の組織』について、おさらいしよう!!



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami

今回は事務処理の要である事務局長に聞いてみました。



**ブナりん** 議会の役割ってなあに？

**事務局長** 町当局（執行機関）が出す大切な政策に対し、みんなで話し合って決定したり、批判や監視をするんだよ。

その他に、議会の運営が円滑に進むように設置される議会運営委員会や、特定の事案について調査、審査するために設置される特別委員会があるんだ。

**ブナりん** 大体聞いて、少し関心が出てきたんだけど！



**アカシヨウちゃん** 議員のメンバーにはどんな役割があるの？

**事務局長** 住民から選挙で選ばれた定数12名が、町の大切な事件について、住民を代表して慎重に審議するんだよ。

**事務局長** 後は議会傍聴にみんなで参加して生の声を聴いてみよう。そして、自分たちの将来のことを話し合ってね。期待しているよ。



**イワっぺ** いくつも委員会があると聞くけど、どんな委員会があるの？

**事務局長** まず、議長は会議の中心となって、町当局と議員のやり取りをまとめるんだよ。常任委員会には、審査をより詳細に行なうための総務厚生、経済文教と、議会だよりや町民との広聴のための広報広聴の3つの常任委員会があるんだ。



只見町議会中継は、  
只見町議会ホームページから  
視聴できます。



# 若者たちの目線 vol.25

只見町って  
なじよだや？

## 只見町の変えるべきところ



只見中学校  
3年 目黒 隼

只見町の一番の問題は、少子高齢化です。昔の只見町は、人口が

多く栄えていました。

しかし、現在の只見町は少子高齢化が進んでいるため、発展するどころか衰退していくばかりです。只見町は、

高齢者や子どもにはサービスが充実していますが、二十代や三十代の若者に対するサービスが少ないと思います。

多く栄えていました。しかし、現在の只見町は少子高齢化が進んでいるため、発展するどころか衰退していくばかりです。只見町は、高齢者や子どもにはサービスが充実していますが、二十代や三十代の若者に対するサービスが少ないと思います。

## みんなが優しい只見町



只見中学校  
2年 鈴木 音緒

僕が思う只見町の良いところは、みんながとても優しいところだと思います。

毎朝、学校に登校する

例えば、子どものように大人も医療機関を受診の際、無料までは

いかなくても町が少し医療費を負担するよう

なサービスがあれば、少しは変わると思います。

最後に、町を作っていくのは若い人たちです。若い人たちを増やすための姿勢を大事にしてもらいたいと思います。

んあります。これらをもっといろいろな人たちに知ってもらいたいと思います。

## 編集後記

お陰様で勉強、勉強の毎日を過ごしております。その中で重要と感じているのが広報です。それは「只見町はどこに向かっているのか。そのために今、何をしようとしているのか」をわかりやすく町民の皆様にお伝えするということです。

町からの情報は、広報ただみ・お知らせ版があります。議会には

議会だよりがあります。同じ政策を取り上げる際でも、しっかりと議会としての考え方を伝えてできるように作られています。

小さな変化から大きな変化になるよう、これからもわかりやすい紙面作りに努めてまいります。皆様のご意見ご感想をお待ちしております。(菅家忠委員)

## 11月29日(日) 議会報告会を行ないます！

テーマ：若者定住、

子育てしやすい町づくり 他

- 午前10時00分～ 只見振興センター
- 午後1時00分～ 朝日振興センター
- 午後3時30分～ 明和振興センター

※都合の良い会場にお越しください。子育て中のお父さん、お母さん是非参加ください。

### 発行責任者

議長 大塚純一郎

### 広報広聴常任委員会

- 委員長 小沼 信孝
- 副委員長 菅家 忠
- 委員 中野 大徳
- 委員 山岸 国夫
- 委員 鈴木 好行
- 委員 酒井正吉郎

発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL：0241-82-5300 FAX：0241-82-5222 E-Mail：gikai@town.tadami.lg.jp